

6 今後の改善の方向性

成果と課題を踏まえ、市町村教育委員会、学校、家庭、地域が一層取り組む必要があることを次のようにまとめました。

市町村教育委員会

- ◇ 地域と学校との連携促進の中核的な役割を果たします。
- ◇ 小中連携、一貫教育の仕組みづくりを積極的に進めます。
- ◇ 地域の教育力を活用した学習機会の充実に努めます。
- ◇ 日常的に活用できるICTの整備など分かりやすい授業づくりに向けた支援をします。
- ◇ 児童生徒が主体的に生活習慣や学習習慣の確立に取り組む場や機会を設定します。

学 校

- ◇ 管理職が明確なビジョンを示し、教職員の共通理解を図ります。
- ◇ 子ども一人ひとりに質の高い教育を提供するよう、学校全体で組織的に取り組みます。
- ◇ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るため、学習内容を繰り返し学んだり、日常の中で活用したりする取組を全校で進めます。
- ◇ 自分の考えをまとめたり相手に分かりやすく説明したりする活動をすべての教科等で充実させます。
- ◇ 日常の授業改善につながる校内研修に取り組みます。
- ◇ 全国学力・学習状況調査等を活用した検証改善サイクルの確立に取り組みます。
- ◇ 積極的な情報発信を通して、保護者や地域の方の学校への理解を深め、協働して教育活動に取り組みます。

家 庭

- ◇ 生活習慣や学習習慣の確立に向け、子どもと一緒に取り組みます。
- ◇ 学校での出来事を聞き、励まし、ほめて自信をもたせます。
- ◇ 子どもと夢や目標について語り合います。

地 域

- ◇ 学校以外での学びの機会をつくるなど、地域全体で子どもを育てます。
- ◇ 地域の行事等で知恵や経験を話したり、励ましの言葉をかけたりします。

北海道教育委員会では、

- ・教育関係者による意見交換の機会の設定
- ・課題解決に向けた指導主事や外部講師の派遣
- ・学力向上に係る研修会の開催
- ・道内外の効果的な取組についての情報提供

などを通して、市町村教育委員会や学校、家庭、地域の取組を支援します。